

日根野中だより

令和5年6月15日発行 日根野中学校長 武田 博之

令和5年度 修学旅行：沖縄を終えて…

～～～今、考えるべきことは…？～～～

今年度の修学旅行…朝早の出発、深夜の帰校・帰宅にご協力いただきありがとうございました。昨年度から本来の形に戻して実施しましたが、今年度も保護者の方々の心配もあったと思います。ただ、普段の日根野中学校の生徒の様子から、約束事を守ってしっかり実施できると確信をもって、今年度も実施へと踏み切りました。結果的には天候の悪さはあったものの、帰ってきた子どもたちの表情から読み取っていただけたのではないのでしょうか。本当に意味のある…これからの子どもたちの、成長のエネルギーに直接関係するような体験ができた修学旅行になったように感じます。ただ修学旅行というのは、その時間だけでは決してありません。「修学」という意味からも、これからが大事になってきます。この貴重な体験を通して、今までの自分を考え、これからの生き方、考え方、行動の仕方を選んでいく「大きな力」となる…反省を踏まえて、大きく人間として成長していく「道標（みちしるべ）」となるものにしていかなければなりません。

いま世界の予想もできなかった情勢から考えても、この沖縄修学旅行を経験したこれから生きる子どもたちが、どのような考えをもって成長し大人になっていくのか…？とても大事なことだと思っています。公教育に携わる我々にとっても、大きな責任を感じながら、日々学校生活の中で、指導・助言に当たっていかなければなりません。

コロナ禍からの飛躍として踏み切ったこの「修学旅行」をしっかりまとめ、継承していくためにも、一人ひとりの心の中に、しっかりと染み込ませます作業がどうしても必要になってきます。そのような計画も、もちろん学年の先生方は準備してくれています。この経験が、後の自分自身の生き方につながるよう、しっかり振り返り、正しい道へと進むための「判断力」として、身につけてくれることを期待しています。

歴史を知ると
今がある理由がわかる…
これから
何をすべきかが見えてくる
大切に考えたい

最後に、語り部さんから伺った話を踏まえて…沖縄戦の海軍最先責任者として沖縄根拠地隊司令官を務められた「太田実海軍中将」が残された言葉…

沖縄県民斯(か)く戦へり…県民に対し後世特別のご高配を賜らんことを…
(沖縄県民は、このように戦い抜いた…県民に対し、後程、特別のご配慮をいただきたく
お願いしたい…という意味…)

この修学旅行を通して感じたこと…この備わった感性を大切に、より一層高めていくことが必要と感じた人もいることでしょう。現地に赴き、実体験を積み重ねることが、何よりも自分の成長のためには必要になってきます。そんな素直な思いこそが、この言葉を残された、太田実さんの思いに…その言葉に答えることにつながるのではないかと思います。

3年生のみなさん本当にお疲れ様でした…これからの更なる成長に期待しています。

生きづらいこの状況…さらに大変過ぎにくい季節「梅雨」が本格的に…

心構えとして「耐える」…大事な覚悟だと思えます…

「耐える」…その言葉が今、消えてしまいそうな…そんな心配すらしてしまいます…。
逆境・順境は人生においても…もちろん家庭生活・学校生活においても、必ず交互にやって来るものです。順境の時には、逆境の刃(やいば)が潜んでいるもの…。逆に、厳しい冬が終わって今の季節があるように、過ごしやすい季節(時)が必ず来ます…。

逆境は誰にでも、どこにでも例外なく訪れます…。自然災害は別として、今を生きる人の大半の悩みの原因である、人と人との関わり合い…。そこから生じる逆境に対して「耐える」…。そんな心を忘れてしまっていないでしょうか？豊かな生活…恵まれた環境に包まれ、慣れてしまって、いつの間にか「耐える」ことより、「社会が悪い」「周りが悪い」「〇〇が悪い」…と、自己責任を考える前に、周囲が悪い「他責」に逃げ込んでしまっていないでしょうか？

自分自身が、責任の一端を担う立場で社会に存在している「一人の人間」であることを忘れてしまっているかのように…。「世の中を生きていくには、思い通りになることなんてめったにない…道理にかなうことばかりでもない…なぜこんな目に合うのか？…と腹立たしく思うことももちろんある…」。しかし、人間の真価が問われるのは、むしろそんな時だということ…。逃げてしまうことの言い訳などいくらでもあるもの…。大切なのは、一言も発しないで黙って忍び耐えること…この尊さを知る必要があるのでは…？そんなことを考えてしまいます…。

恵まれた「今」に感謝すること…また、あきらめない、やめない、その場から逃げない…その志を再確認する必要があります…心構えとして「耐える」…大事な覚悟だと思えます…がんばりましょう！